

学校教育目標 「夢に向かって がんばる」

かしこい子 <知>

学力、判断力、決断力
問題解決能力、自己決定力

心ゆたかな子 <徳>

思いやり、優しさ、感謝の心
協調性、受容性、和やかな心

たくましい子 <体>

肉体的にも精神的にもたくましい、健やかな体

めざす児童の姿 - ゆたかな心を持ち、主体的でより良い自分や社会を築くことができる児童 -

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・学習したことや体験したことを生かし、目の前にある課題を主体的に解決することができる
- ・相手の考えに耳を傾け、多様な考えを取り入れながら自分の考えをよりよくなる
- ・同じ視点で考え、話し合い、子供たち同士で学びを深め合うことができる

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・これまでの学習や体験を生かして、主体的に解決の方法を見出している
- ・自分の考えと比べながら、相手の意見をよく聞き、よりよい方法や新たな考えを創り出している
- ・同じ視点で考え、子供たち同士での「伝え合い」「教え合い」により、学びを深めている

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 個に応じたきめ細やかな指導
 - ・スクールカウンセラー、学習サポーター、学習ボランティア等と連携
 - ・一人一人の教育的ニーズの把握・支援
- チームで対応
 - ・職員間の情報共有および外部機関との連携により、チームで支援

二和っ子の実態

- ・6年生を中心に進んで挨拶する子が増えてきている
- ・よく体を動かす子とそうでない子の差がある
- ・静かに黙ってそうじに取り組むようになってきつつある（黙働）
- ・解決したい課題に対して、友達の意見を取り入れ、さらに考えを深めようとする子が増えてきている

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・教育活動全体で「聞いて、考えて、伝え合う」活動
- ・聞く力、話す力、読む力、書く力、計算力の育成
- ・視覚化、焦点化、共有化の視点から、ICT機器の活用を取り入れたわかりやすい授業づくり
- ・家庭と連携した学習習慣の確立

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・「聞き上手」な子供たちを育てることで、「話したい子」を増やす学習スタイル
- ・自分の考えの足あとがわかる「ノートづくり」
- ・全教科において「単元を通してつきたい力」の明確化を図る

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 学校研究及び校内研修の充実
- いじめ等に対する迅速かつ適切な対応に努め、一人一人を大切にする
- 学校目標を核とした温かな学年、学級経営
- 教育相談活動の充実（いつでも教育相談）
- スクールカウンセラーと連携した児童理解への姿勢
- P T A活動を通しての児童育成
- 学校・行政・地域コミュニティ間の相互の積極的な情報交換・連携活動
- 「二和スタンダード」を通じた共通理解

安心・安全を守る

- ・毎日の声掛けで、安全に対する意識の向上を図る
- ・避難訓練を通して、自分の命を守る意識を育てる
- ・P T Aと連携した「登下校指導」の充実

開かれた学校づくり

- ・地域の教育力の活用（出前授業など）
- ・地域行事への積極的な参加・招聘
- ・学校だよりやホームページによる積極的な情報発信